JUE-95LTインマルサットC LRIT
仕様

標準構成

屋外装置
屋内装置
屋外装置設置用添付品
屋内装置設置用添付品
ケーブル類
予備部品
取扱説明書

ケーブル

屋外装置-屋内装置間	30m
電源-屋内装置間	2m

機種		JUE-95LT
IMO型式検定		√
インマルサットC船舶地球局の等級		Class 1
屋内装置および屋外装置		
	屋内装置型名	NTF-782LT
	屋外装置型名	NAF-742LT(ポール取付け用ブラケット込み)
	周波数	送信:1626.5MHz-1646.5MHz
		受信:1530.0MHz-1545.0MHz
	周波数間隔	5kHz
	受信性能指数G/T	−23.7dB/K (仰角5°)
	送信出力E.I.R.P.	+7〜+16dBW
	周波数変調	送信・受信:1200シンボル/秒　1) BPSK
	データレート	送信:600bps
		受信:600bps
	屋外装置	形式:ヘリカル形
		パターン:半球
		偏波:右旋円偏波
	送信 メッセージ	8KBまで
	メッセージ保存	80KB(インマルサット40KB)
	電源電圧	DC24V(+30%−20%)
	消費電力	送信:75W　受信:15W
	動作温度条件	屋外装置:−35°C+55°C
		屋内装置:−15°C+55°C
	保存温度条件	−40°C+80°C
	湿度条件	+40°Cで95%まで
	着氷	25mmまで(屋外装置)
	降雨量	100mm/hour(屋外装置)
	耐風速	100ノットまで
	振動条件	インマルサット仕様による。
オプション		
電源(AC/DC)		NBD-577C
接地ボルト(屋外装置用)		NTL318538A

1) 2位相偏移変調

※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。

⚠ 注意　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

JRC 日本無線株式會社
JRCウェブサイト　http://www.jrc.co.jp/
本社事務所　〒160-8328 東京都新宿区西新宿六丁目10番1号　日土地西新宿ビル
海上機器営業部　☎(03)3348−2351(ダイヤルイン)

北海道支社　〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1　北海道水産ビル　☎(011)261−8321(直通)
東北支社　〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-9-8　田山ビル　☎(022)225−6833(直通)
中部支社　〒460-0008 名古屋市中区栄2-6-1　白川ビル別館　☎(052)203−1225(業務課)
関西支社　〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-28　☎(06)6344−1633(直通)
九州支社　〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31　博多アーバンスクエア　☎(092)262−2141(直通)
三鷹製作所　〒181-8510 東京都三鷹市下連雀5-1-1　☎(0422)45−9111(案内)
稚内　釧路　帯広　函館　青森　八戸　秋田　盛岡　福島　新潟　長野
神奈川　静岡　焼津　金沢　福井　岐阜　神戸　松江　広島　山口　徳島　高松　高知
愛媛　佐賀　大分　長崎　熊本　宮崎　鹿児島　那覇　シアトル　ニューヨーク　アムステルダム
アテネ　ハンブルグ　上海　台北　マニラ　ハノイ　シンガポール　ジャカルタ

36JM　ISO9001, ISO14001 認証取得
2009年2月作成

© 2009.2

CAT.No.A226(No.635-1-3) D

JUE-95LT
インマルサットC LRIT
(船舶長距離識別追跡装置)

JRC

Complies with latest IMO regulations according to MSC.202(81), SOLAS V 19-1.

JRCのLRIT装置は海上の保安強化のために船舶の固有情報を簡単かつ正確に提供します。

- 国際海事機構(IMO)のLRIT要求仕様に完全適合
- GPS受信機内蔵
- 軽量・コンパクトな屋外装置と屋内装置
- 装備性抜群のシンプルなシステム構成
- 同軸一本接続(屋外装置ー屋内装置間)

JRC 日本無線

JUE-95LTインマルサットC LRIT
性能・機能

本装置の特長

JUE-95LTは、インマルサットCシステムを用いたLRIT専用機です。国際海事機構（IMO）で制定されたLRIT要求仕様に完全適合するとともに、軽量・コンパクトなユニットとシンプルなシステム構成により、最小限のコストで装備可能です。

LRITとは？

船舶長距離識別追跡装置（LRIT- Long Range Identification and Tracking）は、海上の保安強化を行うために国際海事機構（IMO）で制定された全世界的な船舶動静監視システムであり、国際航海に従事する全ての旅客船（高速船含む）と300GT以上の貨物船（高速船含む）および自航式海底資源掘削船への装備が義務付けられています。 本装置は、各船舶が旗国（船籍国）の定めた方法に従って、船舶通信IDや位置情報などの自船の固有情報(LRIT情報)を陸上のデータセンターに一定時間毎に送信します。

LRITの要求仕様

国際海事機構（IMO）の海上における人命の安全のための国際条約（SOLAS条約）に関わる船舶は2008年１２月31日以降の最初の無線検査までにLRIT要求仕様に適合した装置を装備しなければなりません。これ以降、各船舶はその識別符号、位置および日時を6時間間隔で自動送信しなければなりません。さらに、加盟国およびLRITデータセンターからの位置通報の即時要請に対する応答ならびに通報間隔を最小15分に変更できなければなりなせん。
JUE-95LTは、これらの要求仕様に完全適合したLRIT専用機です。

JRCグローバルサービスネットワーク（StarNetwork™）

JRCは1915年の創業以来、製品の販売と同時に一貫してフィールドでのアフターサービスを積極的に行ってきました。今日、JRCは国内外の支店・営業所をはじめ全世界270社以上の認定代理店を結ぶ世界規模のネットワークで、1年365日、24時間体制のサービスを提供しております。

JRC one-call™

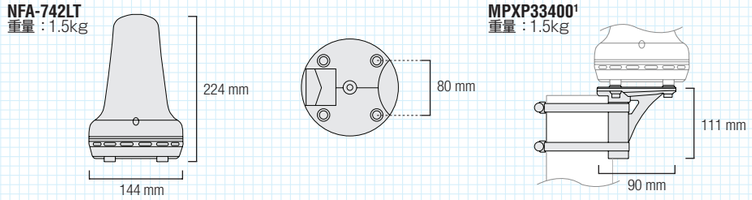
One number to call
With JRC you can go anywhere and if you need our support, simply call us at +81 3 3492 9201, anytime.

JUE-95LTインマルサットC LRIT
装備性に優れたシンプルなシステム構成

簡単・自在な装備方法

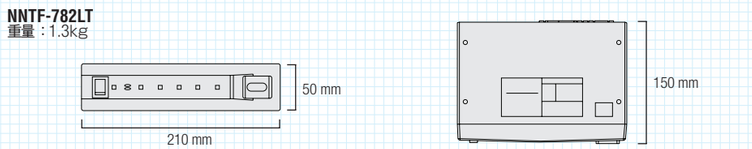
JUE-95LTは、JRCの他のインマルサット-C装置と同様に屋外装置と屋内装置の接続は同軸ケーブル1本で簡単に装備ができます。また屋外装置も屋内装置も軽量・コンパクトな設計で、設置場所を選びません。

寸法図　屋外装置、ポール取付け用ブラケット



1ポール取付け用ブラケットは標準装備品です。

寸法図-屋内装置



対象船舶

以下に示す（国際航海に従事する）船舶はLRIT装置の装備が義務付けられています。

船種

- 高速船を含むすべての旅客船
- 300GT以上の高速船を含む貨物船
- 自航式海底資源掘削船

SOLAS V 19-1

- 2008年12月31日以降に建造された船舶
- 2008年12月31日以前に建造され、下記海域で運航する船舶：
  A1、A2またはA1、A2、A3海域-2008年12月31日以降の最初の無線検査まで装置追加
  A1、A2、A3、A4海域-2009年7月1日以降の最初の無線検査まで装置追加
  A1海域のみ運航する船舶はAIS搭載により除外

豊富なLRITアップグレード ソリューション

JRCでは、LRIT専用機JUE-95LTだけでなく、インマルサットC JUE-85の最新バージョンをはじめ、従来のJRC製インマルサットC装置からのアップグレードもご用意しています。すでに下記の従来機種をご使用の場合は、弊社担当営業までお気軽にご相談ください。
(注意：機種によっては装置交換の場合があります。)

JUE-75A

JUE-75C
CN114組込なし

JUE-75C
CN114組込

JUE-85C